

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第6区分

【発行日】平成26年3月6日(2014.3.6)

【公開番号】特開2013-35557(P2013-35557A)

【公開日】平成25年2月21日(2013.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2013-009

【出願番号】特願2011-171850(P2011-171850)

【国際特許分類】

B 6 5 D 83/00 (2006.01)

B 6 5 D 77/06 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 83/00 G

B 6 5 D 77/06 F

【手続補正書】

【提出日】平成26年1月21日(2014.1.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

内容物が収容されるとともに該内容物の減少に伴いしづみ変形する可撓性の内容器、および該内容器が内装されており、弾性変形して該内容器との間に外気を吸入するための吸気孔が形成された外容器を有する容器本体と、

前記内容物を吐出する吐出口が天面部に形成されており、該容器本体の口部に装着される吐出キャップと、

外部と前記吸気孔とを連通する外気導入孔と、

該外気導入孔と前記吸気孔との連通およびその遮断を切り替える空気弁部と、を備える吐出容器であって、

窒素ガスが充填されることによって、前記内容器内に、前記内容物との反応性が低い気体スペースが形成されており、

前記気体の容量が前記内容器の容量の4%以上である、吐出容器。

【請求項2】

前記気体は、前記吐出口から前記内容物を吐出させるために当該吐出容器を傾けて吐出姿勢にした際、前記内容器内を速やかに移動するものである、請求項1に記載の吐出容器。

【請求項3】

前記気体が気体袋に封入されている、請求項2に記載の吐出容器。

【請求項4】

前記内容器内に形成された気室に前記気体が封入されている、請求項1に記載の吐出容器。

【請求項5】

前記気室が前記内容器の底部に形成されている、請求項4に記載の吐出容器。

【請求項6】

前記内容物が液状食品である、請求項1から5のいずれか一項に記載の吐出容器。

【請求項7】

前記内容物が醤油含有調味料である、請求項6に記載の吐出容器。

